

2014年2月27日

東北大学電気通信研究所 共同プロジェクト研究会

「光ファイバーネットワークを利用した地震・津波・地殻変動の面的な計測技術に関する研究」のご案内

時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災を契機として、今後の激甚災害に備えるために、地震、津波、地殻変動観測の高性能化に大きな期待が寄せられています。観測システムの高性能化にあたっては、広範囲に及ぶ観測データを迅速且つ正確に伝達するために、情報通信技術が果たす役割は極めて重要であります。

本研究会では、光ファイバネットワークを活用した地殻歪み・重力・傾斜等の面的計測技術の構築を目的として、光通信・レーザ技術ならびに地震・津波をはじめとする地球科学の両分野の研究者の間で、最先端の研究成果と今後の展開について議論を行います。皆様多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

東北大学電気通信研究所 中沢 正隆  
東京大学地震研究所 新谷 昌人

記

日時： 2014年3月5日(水) 13:30-17:30

場所： 東北大学電気通信研究所 2号館4階大会議室

プログラム:

13:30-13:35	開会挨拶	中沢正隆(東北大学)
13:35-14:05	11000 m 級軽量セラミックス耐圧球の実用化と長期定域観測用水中グライダーの開発	浅川賢一(海洋研究開発機構)
14:05-14:35	地震計用非線形ばねの特性について	鹿熊英昭(中央大学)
14:35-15:05	神岡大型レーザー伸縮計	高森昭光(東京大学)
15:05-15:25	休憩	
15:25-15:55	狭線幅、低雑音、高出力 $^{13}\text{C}_2\text{H}_2$ 周波数安定化エルビウムファイバリングレーザー	葛西恵介・中沢正隆(東北大学)
15:55-16:25	光通信波長帯高精度レーザー歪みセンサ	吉田真人・中沢正隆(東北大学)
16:25-16:55	レーザー海底流速計の構想	坂田正治(東京大学)
16:55-17:25	光計測を用いた地震・地殻変動観測ネットワーク	新谷昌人(東京大学)
17:25-17:30	閉会挨拶	新谷昌人(東京大学)

講演参加費： 無料

問合せ先:

東北大学電気通信研究所中沢研究室 廣岡 俊彦

(Tel. 022-217-5525 e-mail: hirooka@riec.tohoku.ac.jp)